

12月市議会ニュース

三郷市議会議員 工藤ちか子



5歳児健康診査事業は実施に向けて検討

工藤議員が提案してきた5歳児健診が実施に向けて検討中

5歳児の健康診査はこどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援がその後の成長・発達に影響を及ぼす点で重要であるとされています。政府はこども家庭庁から自治体へ健診のための実施要項などを示し、県内でも「5歳児健診」の実施に足を踏み出している自治体があります。工藤議員は三郷市も遅れをとることなく実施するべきだと要望したのに対し、こども家庭センター長は「来年度実施に向けて検討している」と述べました。

一般会計補正予算 全会一致で可決

補正予算は、総額約9億7千400万円です。主な事業は、障害者への給付費や障害児の放課後デイサービスへの負担金が利用者の増加と報酬単価が引き上げられたことなどから約9億2千万円（国から4億6千万円）

学校給食費の食材の高騰で約1千900万円。光熱費等が約2千600万円。寄付金を活用して学校図書購入が約30万円となりました。市議団は必要な事業費として計上されていることから賛成しました。



イメージ写真

地域包括支援センターの人員配置基準を柔軟化 ～賛成～

人材確保が困難となっている現状を踏まえ、3職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）の配置を原則としつつ地域包括支援センター運営協議会が必要と認める場合は非正規職員の配置が可能になります。

マイナ保険証の利用率は三郷市も低迷

国民健康保険加入者で15.78%、後期高齢者医療保険加入者で11.09%となっています(10月時点)

工藤議員はマイナ保険証への不信や不安が根強く表れているとし、保険証の登録解除ができることも周知するよう求めました。



水害対策の強化を前へ浸水感知センサーの設置が実現。安心安全なまちづくりを進めます。



国政にも声を届けて現行保険証を残そうと駅前では医療労働組合などの皆さんと宣伝しました。



フレイル予防で元気に友の会の皆さんとウォーキングに参加。楽しいひと時を過ごしました。

工藤ちか子の一般質問

県水の水道料金～引き上げは中止を！

埼玉県は、県議会の12月定例会に市町に給水する水道料金の額を改定する条例案を提出（県議会で審議中）しました。県の企業局は値上げの理由を「施設の老朽化や物価高騰による維持管理費の増額に対応するため」としています。工藤議員は、水道法ではその目的を「清浄にして豊富・低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与すること」としています。光熱費や食料品の高騰が続く中、県水の値上げは現行の水道料金に影響し、さらなる値上げとなることが懸念されるため、県水の値上げを中止するよう要望しました。

Q: 県水の値上げは本市の水道料金に影響するか

A: 県の推計によれば1 m³あたり61円78銭から74円74銭へ21%の値上げとなり1ヶ月あたり平均160円（年間1,920円）の増額になると試算されている

Q: 三郷市は、昨年に水道料金の値上げが実施されたこの時「今後3年後を目安に水道料金の水準の検討を行う」としているが、計画に変わりはないのか？

A: 上水道運営委員会からの答申にあったように水道事業の経営の安定化を図るため、三郷市水道事業基本計画の見直しや県水料金の引上げ率等を踏まえて、適正な水道料金水準の検討は3年後を目安に行う予定。



2025年度の予算要望書を木津市長に提出しました。

市長に提出した要望は埼玉県への要望を入れて24項目257件になりました。物価高騰に賃金と年金が追いつかず、市民の暮らしは厳しさを増しています。市民に身近な自治体が「市民の願い実現と暮らしを支える市政へ」としてまとめました。新型コロナウイルスは5類に移行しましたが、感染者は後を断たず検査・治療費の負担が早期発見を遅らせています。市議団は、安心して医療にかかれるよう診療代の負担を軽減すること。国民健康保険税の引き上げを中止し、介護保険料の引き下げを実施すること。補聴器補助制度の導入。子育て支援では、小中学校の給食費の無償化。児童センターの増設や5歳児健診の実施などを明記しました。



今年も「市民の暮らし最優先」の市政へ皆さんと力を合わせ頑張ります。今年もよろしくお祈りします。

伊藤 岳 参議院議員



LINEでこのQRコードを使ってお友達登録していただければ伊藤岳の活動がリアルタイムでお届けできます。ぜひ登録をお願いします。

政治の変化をさらに前へ

～あなたらしく自由に暮らせる社会へ～

1. 学費ゼロをめざし、今すぐ学費・奨学金返済を半額に
2. 賃上げと労働時間の短縮を
3. 現行保険証を残せ
4. 消費税5%減税・インボイス中止を
5. 大増税・大軍拡をストップ

徹底した現場主義で県民の声を届けてきました。皆さんのお力で再び国会へ送ってください。

